

# ハナレザル出沒！

住民パワーを集結して、ハナレザルを追い出そう！

## 夏見地内に頻繁に出沒！

### 人身被害や人家侵入も

先月の下旬から夏見地内の積田神社付近に一頭ハナレザルが出沒し、農作物や果樹が取られるだけでなく、人家への侵入や人への威嚇、抱きつき、引っかけなど人身被害が発生しています。

そうです。そのつつじが丘の一頭が夏見に下つてきているのではないかとのことです。

るので、夜間に活動することはありません。

つつじが丘では五月〜六月の間に二頭のハナレザルが頻繁に出沒しており、家庭菜園への被害はもちろんのこと、登下校時の生徒や児童への噛みつきや、抱きつかれた女性には三十人を超えている

つつじが丘のハナレザル出沒の原点は、軒先の吊るし柿だといわれています。サルは記憶力が良く、おいしい食べ物の場所はしっかりと覚えていきます。また、怖い人、怖くない人は見分けて覚えています。サルの五感は人並みで匂いや音にはあまり敏感ではなく、行動はすべて視覚に頼っている

集落の農地はサルにとって魅力的なエサ場となっています。収穫を放置した作物や果樹、またごみ捨て場の残りもの等を食べられても、人間はさほど被害に感じませんが、サルはエサ場として認識し、集落に出沒し続けます。この時に、脅しなどにより恐怖心を与えなければ、ますます安全なエサ場としての認識が高くなり、集落への出沒頻度は増加します。

出沒状況など多くの情報を共有し、できることからみんなで協力し、地域が団結して取り組むことが重要です。

二学期が始まり、子ども達の登下校時の見守り等については、学校、保護者、地域が一丸となって見守りの強化に努めています。さらに「子どもを守る家」に登録をいただいている方は、サルや不審者等に出会った時の逃げ込み場所として、ご協力いただけます。



かなり狂暴です！注意！

### 登下校時の見守り強化

### サル対策～できることから

- 家中の施錠はしっかりする。
- 生ごみの放置や野外放置された食物をなくす。
- 食料品などはサルが見えないところに保管し、施錠する。
- 子ども、お年寄り、女性などひとり歩きはさける。
- 子ども達には「見ザル」「近寄らザル」「エサをやらザル」ようにと指導する。
- 情報を共有し、近隣住民がお互い注意喚起する。
- ※サルの学習能力・記憶力を利用し、集落にはエサがない。集落は怖い所、嫌いな所だと学習させ、記憶させることにより被害の軽減が図られます。

二学期が始まり、子ども達の登下校時の見守り等については、学校、保護者、地域が一丸となって見守りの強化に努めています。さらに「子どもを守る家」に登録をいただいている方は、サルや不審者等に出会った時の逃げ込み場所として、ご協力いただけます。